

死亡災害速報

令和6年10月21日

令和6年-3

港湾貨物運送事業労働災害防止協会

港名	名古屋港		業種	港湾荷役業	
事業場の名称	_____			労働者数	182人
事業場の所在地	名古屋市港区				
雇用形態	常用				
被災労働者氏名	性別	年齢	職種	被災の程度	
_____	男	76歳	現業職パート	死亡	
発生日月時刻	令和6年10月15日(火) 午前10時30分頃				
発生場所	名古屋市港区内モータープール				
発生状況	<p>1 午前8時30分から被災者を含む作業員8名により、輸出車両の出荷搬入ハイ付け作業を開始した。</p> <p>2 作業に一区切りがついたため、午前10時頃から10時20分頃まで休憩を取った後、被災者は、同僚作業員と2名で搬入許可済の輸出車両の搬入ハイ付け作業場所に向かった。</p> <p>3 被災者は搬入車両に乗車し、指定の位置に停車させた。</p> <p>4 一方、同僚作業員は、別の搬入車両に乗車し被災者の車両を追走、被災者が指定位置にはい付けを完了させるまで被災者車両の左前方に停車させた。</p> <p>5 被災者は搬入車両から降車後、助手席側に回り込み、助手席側フロントガラス内側に貼付されている管理ICスキャン作業を行っていた。</p> <p>6 同僚作業員は被災者が乗車していた車両の停車を確認してから、被災者車両左横指定位置に車を停車させるため後退させようとした際、被災者が上記5の作業を行っていることに気づいたので、同僚作業員は、車両を停止させるためブレーキを踏もうとしたところ、間違えてアクセルを踏んでしまったことから急後進した。</p> <p>7 このため、スキャン作業を行っていた被災者の左後方から同僚作業員が運転する搬入車両が激突し、被災者は被災者車両と同僚作業員車両に巻き込まれながらはさまれた。</p> <p>8 同僚作業員はすぐに降車し、被災者を救出し救急車を手配。救急車両到着後まで被災者の意識はあったが、その後心肺停止状態となり、搬送先の病院で死亡が確認された。</p>				
原因	現在、調査中				
			発信：東海総支部 前田	受付：佐藤	

(参考) 死亡者数	10月発生分	令和6年累計	前年同月累計
	1件1人	3件3人	2件2人

(災害発生現場付近の略図)

